

# 第48回卒業証書授与式

# 一中短信

## 式辞

校長 熊谷 勝利

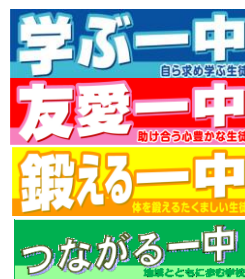
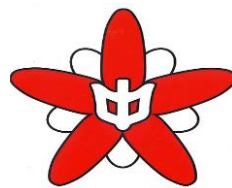


三年前。卒業生のみなさんは、臨時休校により、突然小学校生活が終了しました。希望を胸に入學した中学校も、すぐに臨時休校、分散登校になりました。今、多くの人に祝福されながら、卒業証書を手にしたみなさんの姿を前にして、私は感激で胸がいっぱいです。(中略)

みなさんの三年間の中学校生活。常にマスクをつけ、人との距離をとり、大きな声を出すことができない毎日でした。密であることが楽しい中学校生活を、みなさんはたくさん制限の中で過ごしてきました。中止や縮小となった学校行事がたくさんありました。長い期間の部活動休止が何度もありました。やりたいことが思うようにできないもどかしさ、辛い思い、寂しい思いがたくさんあったはず。おそろしく、入学前に思い描いていた中学校生活とは違ったものになったのではないのでしょうか。それでもみなさんは、決して下を向くことなく、社会の状況と向き合いながら、懸命に中学校生活をやり遂げました。たくましく、困難を乗り越え、中学校生活をやり遂げました。

## 第 750 号

令和 5 年 3 月 8 日  
新潟市立  
白根第一中学校



(中略)

白根第一中学校第四十八代卒業生は、爽やかで心優しい、一中自慢のすてきな卒業生です。一中を巣立ち、新しい世界へ羽ばたくみなさんに、私が期待していることをお話しします。

みなさんは今年度の「いじめ見逃しゼロスクール集会」で、人にはみんな、「安心して生きる」「自分らしく生きる」といった人として尊重される権利があること。自分の権利が尊重されるのと同じ様に他の人の権利も尊重しなければならぬこと。このような素晴らしい姿勢を示しました。そのことを私は本当に感謝しています。そして、みなさんにぜひその姿勢をこれからもずっと持ち続けてほしいのです。今、世界には人の権利が脅かされたり、侵害されたりする問題が数多く起こっています。権利を侵害され、奪われ、辛い思い、悲しい思いをしている人々がたくさんいます。人権の問題を解決するのは決して簡単なことではありません。しかし、だからこそ、みなさんには人の権利が脅かされている場面に遭遇したら、見て見ぬふりをするのではなく、声を出し、行動してほしいのです。人の権利が尊重されることを、言葉で伝え、行動で示せる人になってほしいのです。前例のない時代を力強く生き抜いたみなさんには、創造力、適応力、忍耐力、そして素晴らしいエネルギーがあるのです。みなさんが作るこれからの社会が、大人も子どもも安心して自分らしく生きることができ、人間の権利が尊重される社会であることを目指して、ください。そのことを心から期待しています。

(中略)

最後に再び卒業生のみなさん。みなさんの母校はこの白根第一中学校であり、心のよりどころは家族、この仲間、地域の方々、そして一中の教職員です。白根の素晴らしい自然、文化、人のぬくもりを宝物にしながら、自信をもち、胸を張ってこれからの人生を歩んでください。もしみなさんに、これから苦しいこと、辛いことがあるときには、私の好きな小説のこの言葉を思い出してください。

困難に向かい合ったとき、もつタメだ、と思ったとき、想像してみよう。三時間後の君、涙が止まっている。二十四時間後の君、涙は乾いている。二日後の君、顔を上げている。三日後の君、歩きだしている。

困難は必ず乗り越えられるのです。みなさんと出会い、共に乗り越えてきたことを私はこれからも忘れません。卒業生のみなさん全員の未来の幸せを、心から、心からお祈りし、式辞といたします。

# 答 辞

卒業生代表 庭山 蒼太さん



(前略) 私たちが過ごした三年間は、新型コロナウイルスの流行という世界中の誰もが想像しえなかったことが起こり、世の中が大きく変化した時期でした。当たり前前にできていたことは、当たり前でなくなりました。

三年前の入学式。先輩の姿のない会場に驚きながらも、私たちは未来への希望を胸に、中学生としての最初の一步を踏み始めました。学校生活が始まると、私たちが待っていたのは「分散当校」。目の前の席の人と顔を見合わせる事がままの状況に私たちは戸惑いました。ようやく分散登校の期間が明け、クラス全員の顔を見られるようになってからは、今までの遅れを取り戻すかのようにだんだんとクラスの仲が深まっていきました。(中略)

私たちの三年間を鮮やかに彩ってくれたのは素晴らしい行事の数々です。

各連合一丸となり、全力で楽しみ尽くした体育祭。まだ制限が残りのつも、マスクを外して競技、応援をする姿は、とても生き生きとしていました。各連合の強い絆が感じられる応援と、持てる力を出し尽くした白熱した戦いがあり、ファイナルでは、全校で団結し一つのものを作り上げ、今までに例を見ない最高の体育祭であったと思います。クラスの絆の集大成を披露した合唱コンクール。各クラスが練習の成果を出し切りバストを越えた最高の合唱になったと思います。

こうして私たちが過ごした三年間を振り返ると、社会情勢などによって様々な苦境があったものの、私たちがここまで無事に成長し、学校生活を送ってこられたのは、多くのことを教えてくださった先生方や、私たちを見守っていてくださった地域の方々のおかげだと強く実感しています。本当にありがとうございます。

これから私たちが歩んでいく道は、希望いっぱい、輝いているでしょう。この白根第一中学校で、これまでの九年間の義務教育の中で、世界を巻き込み、私たちが翻弄させたコロナとの戦いを通して、逆境に打ち勝ち、その中で楽しむ方法を学び、その力を得てきました。それを生かして、私たちは自分の道を、前を向いてしっかりと歩んでいきます。

# 送 辞

在校生代表 渋谷 彩花さん



厳しい寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。本日、晴れてこの白根第一中学校を卒業される三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。長いようであっという間の三年間。目を閉じれば様々な思い出が浮かんでくるのではないのでしょうか。

(中略) 体育祭では、リーダーとしてあるべき姿を見せてくださいました。連合の士気を高める応援合戦をしようと計画を練り、私たちが分かるまで側に寄り添い、根気強

くダンスを教えてくださいました先輩方。「最高の体育祭にしたい」という先輩方の熱い想いに導かれ、少しずつ連合としての団結が深まっていききました。体育祭当日は声が枯れるほど全力で応援し、競技・応援合戦ともどの連合もとても白熱した戦いをする事ができました。

部活動でも多くのことを学ばせていただきました。運動部・文化部関係なく、どんなに辛くても、弱音を吐かず、明るく粘り強く自分の目標に向かって本気になって頑張った先に、確かな成長があることを教えていただきました。この他にも皆さんと過ごした様々な思い出がよみがえってきます。

素晴らしい歌声に圧倒された合唱コンクール。生徒会主催のレクリエーション。いじめ見逃しゼロスクール。

今日まで二年間、私たちは先輩方のように何でも受け止められる、後輩に慕われる人になりたいとその大きな背中を必死に追いかけてきました。まだまだ未熟な私たちがですが、「白根第一中学校の伝統」というたすきを、今、しっかりと受け取りました。このたすきの重みをしっかりと感じながら、本気で努力できる一中学生として、この役目を果たしていきます。

先輩方が、次に待っているのは高校への進学といった新たな環境でのスタートです。そこには、様々な出会いがあると同時に、不安や苦労もあると思います。しかし、私たちがまとめ、様々な苦難を経験してきた先輩方ならそれを乗り越え、この先も輝き続けると信じています。いつまでも名残は尽きませんが、先輩方の更なる活躍とご健康をお祈りし送辞といたします。

## 新潟市立白根第一中学校

1年生 98名 2年生 109名 3年生 105名 全校生徒 312名 (3月8日現在)

〒950-1217 新潟市南区白根 407 番地

TEL 025-373-1811 FAX 025-373-1812

E-mail : j602shirone1@city-niigata.ed.jp HP : http://www.shirone1.city-niigata.ed.jp/

◎「一中短信」へのご意見・ご感想はいつでもお寄せください。(教頭 菊池)



**3年生のみなさん 卒業おめでとう！！**

**学ぶ一中**  
自ら求め学ぶ生徒

**友愛一中**  
助け合う心豊かな生徒

**鍛える一中**  
体を鍛えるたくましい生徒



**第48回 卒業証書授与式**

